



ニュース

第 43 号

2012 年 10 月 25 日発行
トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町 4-10-2
広島西飛行場ターミナルビル 1F
TEL ; 082-233-3233 FAX ; 082-233-3251

URL ; www.tops-h.net/

* 加盟団体 *

- ・ NTT西日本広島
- ・ サンフレッチェ広島
- ・ JTサンダーズ
- ・ 湧永製薬
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ ソフトテニスクラブ
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ レッドスパークスホッケー部
- ・ 広島東洋カーブ

ぎふ清流国体 ~心を一つに、日本再生~

国民体育大会が9月29日から10月9日まで岐阜県で開催された。バレーボールのJT、ハンドボールの湧永製薬・広島メイプルレッズ、バドミントンの広島ガス、ソフトテニスのNTT西日本広島、ホッケーのコカ・コーラウエストレッドスパークスが出場した。

第 67 回 国民体育大会

ソフトテニス NTT 西日本広島

- 「男子」 **2位**
- * 決勝 ● 0-2 ○ 奈良
 - * 準決勝 ● 2-0 ○ 三重
 - * 準々決勝 ● 2-1 ○ 京都
- 「女子」
- * 2回戦 ● 1-2 ○ 鹿児島

ホッケー コカ・コーラWRS **2位**

- * 決勝 ● 0-1 ○ 岐阜
- * 準決勝 ○ 2-1 ● 奈良
- * 一回戦 ○ 4-0 ● 富山

バレーボール JT サンダーズ **3位**

- * 準々決勝 ○ 3-0 ● 埼玉
- * 準決勝 ● 1-3 ○ 愛知
- * 3位決定戦 ○ 3-0 ● 岐阜

バドミントン 広島ガス

- * 1回戦 ● 1-2 ○ 岐阜

ハンドボール ワクナガ **4位**

- * 3位決定戦 ● 24-34 ○ 佐賀
- * 準決勝 ● 30-35 ○ 愛知
- * 準決勝 ○ 35-19 ● 茨城

ハンドボール メイプル **4位**

- * 3位決定戦 ● 18-22 ○ 鹿児島
- * 準決勝 ● 11-27 熊本
- * 準々決勝 ○ 27-20 ● 香川



ソフトテニス 男子準優勝！！

平成 24 年 9 月 30 日～10 月 3 日に瑞浪市の瑞浪市民テニスコートで国民体育大会が開催された。9 月 30 日の成年女子の部では 47 都道府県が出場し、広島からは佐々木・大庭ペア、中野・小林ペア、中村・石井ペアが出場した。鹿児島県と戦い、まさかの初戦敗退であった。10 月 2 日の成年男子の部では 16 県が出場し、広島からは村上・長江ペア、堀・中本ペア、水澤・岩崎ペアが出場した。決勝は奈良と戦い惜しくも敗退し、2 連覇にならず準優勝であった。



コカ WRS も準優勝

10 月 1 日～10 月 4 日に各務原市で行われた大会では、1 回戦で富山県を 4-0 で制し、準決勝では奈良県に 2-1 で勝利した。10 月 4 日に行われた決勝戦では、岐阜県に対し 0-1 で惜しくも敗退し、第 2 位で大会を終えた。両チーム一歩も譲らぬまま、0-0 で前半を終えると後半 5 分、一瞬で相手に先制点を与えてしまった。その後も PC を取得するが、両チームとも得点を決められず、試合は終了した。



9 月 25 日、広島グリーンアリーナで広島県選手団の壮行・結団式が行われた。旗手は、コカ・コーラウエストレッドスパークスの駒澤李佳選手。9 月 29 日に行われた総合開会式でも、駒澤選手が広島県選手団旗手として出場した。



広島県選手団旗手に
駒澤選手！！



惜しくも初戦敗退

6 日に行われた初戦。広島ガスは強豪の岐阜と対戦し 1-2 で敗れ、初戦敗退に終わった。ダブルスでは前田・桜井ペアが出場し、脇田・江藤ペア（日本ランキング 7 位）を相手に競り合うも一歩及ばず敗戦。続くシングルスに出場した武田は後藤（日本ランキング 5 位）を相手に見事快勝し、流れを引き寄せた。最終シングルスでは桜井が出場し、粘りを見せるも最後は脇田のスピードに押し切られ、惜しくも敗退。広島ガスは初戦敗退となったものの強豪相手に熱戦を繰り広げた。



イゴール選手入部記者会見

9月24日に猫田体育館でイゴール・オムルチェン選手の入部記者会見が行われた。イゴール選手は208cmと長身であり、最高到達点は360cm。高さやパワーを兼ね備えた選手だ。クロアチア・ナショナルチーム時代にはベストスコアラー賞を2度獲得。またイタリアリーグのルーベ・マチュエラ時代には、チームを優勝に導くとともにレギュラー・シーズン最多得点ランキング2位の実績がある。会見では「JTサンダースにとって重要な選手となれるよう、自分のすべての力を出し切って頑張ります。応援よろしくお願いします」と抱負を述べた。「2012/13V・プレミアリーグ」での活躍に期待したい。



最優秀防御率投手賞 ～マエケン、2年ぶり2度目！～



今シーズンのカーブは惜しくもCS出場を逃し、4位に終わったが、前田選手が最優秀防御率投手賞を受賞した。昨年までも2年連続奪、三振王に輝くなど、ますますの成長をみせている。前田選手自身「一番多い回数を投げて、最も防御率がいいのは理想的で納得している。」とコメント。また今シーズンでは数多くの試合で若手の成長も目の当たりにすることができた。来期に繋がる光を見せた。



湧永・メイプル 現在3位

9月1日から開幕している第37回日本ハンドボールリーグは10月13日に広島市中区スポーツセンター、20日に湧永満之記念体育館で開催された。湧永レオリックは13日の大崎電気戦で23対30大崎と敗れたが、20日は豊田合成を30対20で下し5勝2敗となり現在3位に付けている。一方メイプルレッズは、13日の北國銀行戦では24対32と敗れたが、20日に行われたソニーセミコンダクタ戦では27対22と5点差で勝利。現在3位となった。



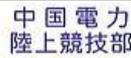
日本リーグ2連覇！！

10月21日に迎えた、日本リーグ最終試合。対戦相手は、ソニーHC BRAVIA Ladies。優勝する為には、勝ち点3を取らなければならなかった。レッドスパークスは確実なパスで敵陣へ攻め込むと前半7分、李選手がPCによる先制点をあげた。待望の先制点から続く前半17分、再びPCで金選手が追加点を取得。その後も相手の力強い攻撃に怯むことなく、ゴールを守る。そして前半23分、金選手のナイスアシストで新井選手がゴールを決めた。3-0で前半を終えると、後半もソニーHCの猛攻を守備陣が抑え、試合は終了。宿敵ソニーHCに勝利し、大会2連覇を達成した。



女子ベスト4独占

10月7日、呉市営テニスコートで仁井岡杯全国ソフトテニス大会が開催された。優勝は佐々木・大庭ペア、準優勝は水間・榎本ペア、3位は三好・伊東ペア、小林・中野ペアで、ベスト4を独占する快挙をかざった。この大会を弾みに、10月26日から鹿児島県で開催される日本最高峰の第67回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会優勝に期待したい。



世界ハーフマラソン

10月6日にブルガリアのカバルナで第20回世界ハーフマラソンがおこなわれ、中国電力から出場した岡本直己選手は1時間5分40秒で35位。各チーム上位3選手の合計タイムで争われる団体で、男子は9位という結果だった。

21位	川内 優輝 (埼玉県庁)	1:04:04
29位	宇賀 地強 (コニカミノルタ)	1:04:49
35位	岡本 直己 (中国電力)	1:05:40
58位	宮脇 千博 (トヨタ自動車)	1:08:33
67位	木原 真佐人 (カネボウ)	1:11:31

日本人選手のタイム

9月29日(土)、J1第27節サガン鳥栖戦で、佐藤寿人選手が通算20得点というクラブ新記録を樹立した。記録が塗り替えられたのは18年ぶり。94年にFWハシエック選手が挙げた通算19得点以来のこととなった。この記録が生まれたのは、3-1で迎えた後半ロスタイム。MFキツチ選手のロングボールから、相手DFとGKをかわして決めた、きれいなルーブシュートであった。佐藤選手は前半34分にPKも決めており、2ゴール1アシストとチームの勝利にも大きく貢献した。今季は次々に記録を生み出すだけでなく、J1得点ランキングでも1位を独走し、2年8カ月ぶりに日本代表の欧州遠征に召集されるなど勢いが止まらない佐藤選手。リーグ優勝に向けて、残りの試合での活躍も期待したい。



佐藤選手 クラブ新記録



*** ロゴマークの意味 *** 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。